

尿路上皮癌(腎盂・尿管癌、膀胱癌)の治療のために
当院にて薬物治療を受けたもしくは現在受けている患者さんの
診療情報および手術時の病理検体を用いた臨床研究に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 腎泌尿器外科学教室 職名 講師
氏名 早川望
連絡先電話番号 044-977-8111(代)

このたび当院では、上記の病気で入院・通院されているもしくは過去に通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を研究責任者(早川望)までご連絡をお願いします。

1. 対象となる方

西暦 2010 年 1 月から 2023 年 3 月までの間に、腎泌尿器外科にて尿路上皮癌に対して薬物治療を受けられた方

2. 研究課題名

腎盂・尿管癌、膀胱癌における薬物治療の効果予測および予後予測因子の検討

3. 研究実施期間

聖マリアンナ医科大学医学部腎泌尿器外科学教室・聖マリアンナ医科大学病院腎泌尿器外科
川崎市立多摩病院泌尿器科
横浜市西部病院泌尿器科

4. 本研究の意義、目的、方法

転移性もしくは切除不能な尿路上皮癌(腎盂・尿管癌、膀胱癌)に対する治療の主体は全身薬物治療です。腎機能に合わせてシスプラチンもしくはカルボプラチンによる抗癌剤治療が第一選択です。この抗癌剤治療の効果がない場合の治療が長らくありませんでしたが、2017 年に免疫チェックポイント阻害剤であるペムブロリズマブが保険適用になってから、複数の新たな薬がその効果を検証されており、近い将来にはそれらが使えるようになることが予想されます。一方で、新しい薬剤が増えることにより、薬剤変更のタイミングや効果を予測する因子などの疑問も生じます。今回改めて尿路上皮癌の予後を解析し、またどのような症例でどの薬が適

しているかを検討することで、尿路上皮癌における新たな治療戦略の確立を目指します。

5. 本研究の実施期間

西暦 2021 年 7 月 9 日～2026 年 3 月 31 日(予定)

6. プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報(住所、電話番号など)は一切取り扱いません。
- 2) 個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報は含みません。
- 3) 研究用のデータと患者さんの個人を特定する情報(氏名、生年月日、患者番号など)を結び情報(加工した情報と個人情報の紐づけ表)は、本研究の研究責任者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合にのみ参照します。

7. お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。川崎市立多摩病院、横浜市西部病院で治療をされた方で、本研究の対象となる方でも、研究責任者が所属する聖マリアンナ医科大学腎泌尿器外科学教室への問い合わせは可能です。

各施設 問い合わせ先 川崎市立多摩病院

所属 泌尿器科 氏名 吉岡 まき

連絡先電話番号 044-933-8111

横浜市西部病院

所属 泌尿器科 氏名 関口 善吉

連絡先電話番号 045-366-1111

研究責任者 聖マリアンナ医科大学

所属 腎泌尿器外科学教室 職名 講師

氏名 早川 望

連絡先電話番号 044-977-8111(代)

以上